一社専属ライフプランナー の 反対処理トーク集

今すぐ保険は必要ない

見込み顧客が喜んで納得する禁断の反対処理トークでMDRTへ。



今すぐ保険は必要ない

治療の国と予防の国

「日本は治療の国、アメリカは予防の国なんて言われたりするんですけど、なぜだと思います?」

「医療費の自己負担は日本は3割で、アメリカは10割だからなんです。アメリカだと盲腸になって1泊で200万円とかかかっちゃうんです。」

「日本は何かと国の制度に守ってもらっているから、なんとかなるだろう精神の国民性となったようです。」

「なってしまったあとに対応すれば、まあなんとかなるだろうって思ってしまいがちなんですね。」

「でもこれからの時代はどうでしょうか?」

「老後の年金、本当に国任せで大丈夫でしょうか?」

「万が一自分に何かあったとき、家族の生活費は誰かに任せっきりでなんとかなりますか?」

「すでに日本も、事前に対策をとって、準備をしている人だけがしっかり生き抜いていける時代に変わってはいませんか?」

無料だったら?

「もし日本の制度が変わって、こういった収入保障が無料の手続きだけで手に入るとしたら、「おれは 絶対にいらないんだ!」と言って手続きしないですか?」

「もし無料だったら、月々いくらくらい残せたら安心ですか?その理由は?」

「では、保障がいらないわけではないんですよね?」

「ちょっと月々の保険料にびっくりされただけですよね?」

泥棒が来る

「家の鍵って毎日かけてますか?」

「それってなんででしょうか?」

「泥棒が入るかもしれないからですよね。」

「もし"絶対に泥棒が入ってこない"ってわかってたら、今のように毎日しっかり鍵をかけますか?」

「では逆に"いつか必ず絶対に入ります"ってわかってたら、毎日鍵をかけますか?」

「実は保険も同じで"いつか必ず絶対に使う日がくる"んですけど、それがいつだかわからないんです。 でも100%なんです。」

「今から安心の鍵、かけておきませんか?」

車の保険は?

「車の保険って、対人事故の場合ト限額って知ってますか?無制限ですよね?」

「毎月いくらくらい支払ってますか?」

「ちなみに、なんで任意保険に入ってるんでしょうか?」

「他人を轢いて、怪我や亡くなってしまったら、遺族に賠償しないといけないからですよね?」

「車の修理代もかかりますし、家に突っ込んでしまったら直すお金も必要です。」

「でも車の価値ってせいぜい500万円くらいですよね?」

「ちなみに、今の状態って○○さん自身の修理代には1円も出ないんですけど、○○さんの価値っていくらくらいですか?」

「他人の遺族には無制限の保険に入ってるんですけど、〇〇さんの大切で身近な家族に対する保障って、本当に今いらないんでしょうか?」